

個性豊かで活力のある

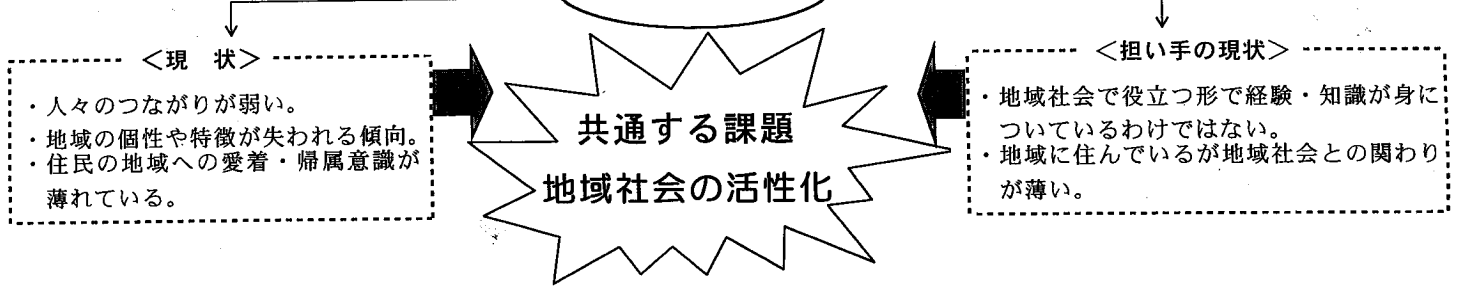
地域社会形成とその担い手づくり

－現代的な課題に対応する社会教育のあり方について－（報告）

平成19年7月24日

茨城県社会教育委員会議

地域社会



●社会教育の役割 1

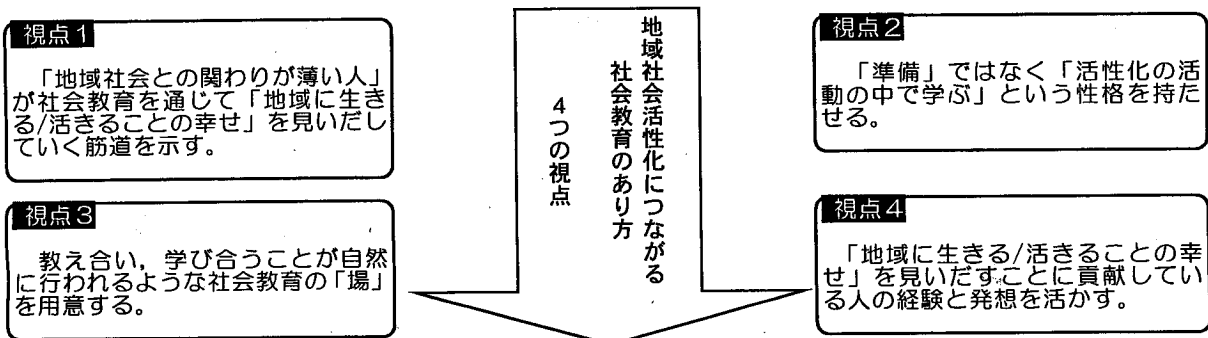
住民が地域社会の活性化の主役となるための「人づくり」

- 自分たちの住む地域の問題に関心が持てる人
- 自分たちの問題として課題解決に向けて取り組む意識と力量を持つ人

●社会教育の役割 2

住民の力をつなぎ合わせ、地域全体の力を高める「地域づくり」

行政の支援
人と人をつなぐ
コーディネーターの養成



＜提案1＞
団塊の世代による地域課題解決のための起業のすすめ
— 「たまり場」から生まれる新しいコミュニティ社会の実現 —

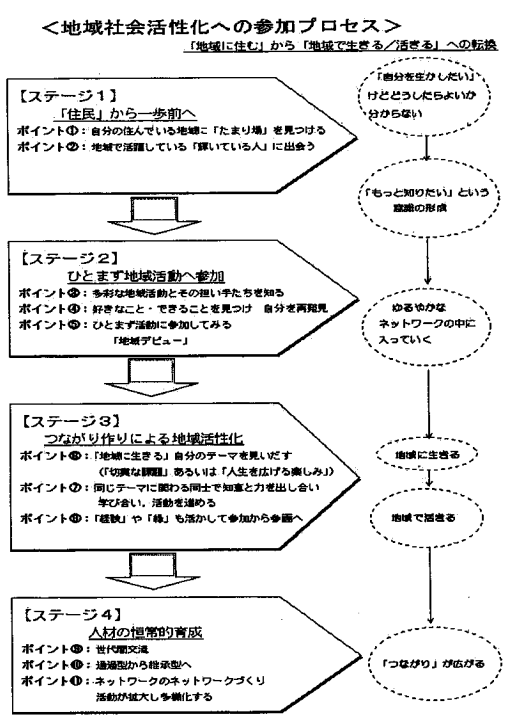
地域に「たまり場」をつくろう！
柔らかなクッションを並べる
本音で語れるスペース
出会いが生じる場

＜「起業」の準備＞

- 1 地域を知ろう
- 2 仲間をつくらう
- 3 イメージを作ってみよう
- 4 基本設計を作らう
- 5 ビジネスの立ち上げに向けて（具体的な準備や手続きを分担して行う）

＜スタート＞
地域課題解決のためのビジネスとして起業する

新しい起業への発展



＜提案2＞
学校は自分再発見と地域活動への参加の場
— 学校教育と社会教育のコラボレーションによる地域づくり —

自分再発見
自分は何をしたいのか、何ができるのかを確認

支援活動への参加
(学校ごとのニーズ)

- ・学校教育活動支援
- ・学校環境整備支援
- ・放課後児童支援
- ・PTA 活動支援
- ・子ども会活動支援
- ・スポーツ少年団活動及び地域活動への支援

参加から参画へ

コーディネーター